

課題

- 通常の学級における発達障害をはじめとする、配慮を要する子どもの増加や教育的ニーズの多様化への対応
- 教員の子ども理解力や授業力の向上
- 通級指導教室担当教員の専門性向上
- 保護者相談窓口の拡充

目的

どの子どもにもわかる授業と静謐な学習環境をつくる

発達障害理解研究

- 発達障害児の特性理解を深め、授業・学習環境のUD化の実践研究に取り組む
- 専門家を年間4回派遣する（15校）

チーム力の充実

学校のチーム力と教師力を発揮し、
学校全体で取り組む

①どの子どもにもわかる授業づくり⇒【授業のUD化】
②静謐な学習環境づくり ⇒【学習環境のUD化】
(ユニバーサルデザイン=UD)

通級指導教室担当者研修

- 発達障害に関する相談窓口も担う通級指導教室担当教員の専門性の向上を図る研修の実施
- 全体研修やペア研修
 - 外部専門家の巡回指導等

発達障害等の子どもへの指導の充実

授業UD化推進研修

- 教員を対象に、授業のUD化の研修を実施する

発達障害児等専門家派遣

- 外部専門家を派遣し、教員及び保護者に対する指導助言を行う
- 支援学校地域支援との連携

教員の専門性の向上

発達障害等対応研修

- 発達障害等の特性理解や対応について、年間10回の研修を教員対象に実施する

期待される効果

- すべての子どもにとってわかりやすい授業づくりによる学びの基礎力の向上
- 静謐な学習環境の確立を通し、いじめや学級の荒れ等生徒指導上の問題を減少
- 一人ひとりを大切にする学級経営・授業による子どもの自尊感情の向上
- 子どもたちが過ごしやすい学習環境を基盤に、各学校の実態に応じた発展的な教育活動の展開
- 通級指導教室の充実による、発達障害等の子どもへの指導の充実